

パウダーレスインキ「キレイナ」の実力 (広告)

18. 検査装置にも有効〔プリントン〕

油性インキによるオフセット印刷において、パウダーをなくすことは、ある種理想の印刷である。近年、裏移り防止剤をはじめとした素材の改良により、少しずつ市場で採用されているが、その先陣を切ったのが、T&K TOKA の「ベストワンキレイナ」である。競合のインキメーカーも同様なパウダーレスインキを製造・販売してきているが、先頭を走っているキレイナに一日の長があるようだ。

今回の(株)プリントン(東京・潮見、岩崎興一社長、社員26人)は、キレイナ登場時から同社の仲野智之専務が目をつけ、2014年7月から使い始めた。「キレイナは、先陣を切った安心感と、最初だったのでメーカーの対応含めやりやすかった。また、メーカーの迅速な品質改良があって、現在、カラー印刷はすべてキレイナにしています。印刷物の仕上がりに満足したお客さんが、キレイナを要望する場合もあります。パウダーレスインキ、イコール「キレイナ」と認識しているようです」(仲野専務)とのことだ。

しかし使用し始めた当初は、印刷の仕上がりに満足しなかったという。その点は、メーカーの改良で良くなっていき、2014年12月には本格導入となった。

もともと湿し水を絞って極力スプレーパウダーを少なくしようと取り組んできた会社にとって、キレイナの採用はその効果をより活かしている、という状況になっている。

検査装置にも有効

プリンтонは、5色機、4色機、2色機があり、すべて菊半裁判で、各種商業印刷物に対応している。4色機には、後付けで、インライン品質検査装置を設置し、ピンホール、油ダレ、ゴミ、汚れなどの検査している。

しかし、インライン検査装置では、検査装置通過後のスプレーパウダーによるボタ落ちなどのトラブルが検知できずに、再検品を行う必要もあった。また、検査装置にスプレーパウダーが付着してしまうため、こまめな清掃が必要である。



プリントンの印刷機のデリバリ部分は、まったく白くなく、新台のようだ



品質検査装置を付けた4色機の前で仲野智之専務(右)と清水昭子氏

これらの手間が、キレイナを使用していることで、スプレーパウダーが削減でき、検査装置通過後のトラブルや清掃の頻度が抑えられ、本来の検査装置の役割を果たしている。問題ある印刷物を除去できるというその性能に満足し、設備したばかりの5色機にも取り付けたい意向だ。

ゼロも可能に

キレイナを採用する前は、重い絵柄を印刷するときに、パウダー量を多くせざるをえず、仕上がりに黒い点汚れが発生することがあった。現在、パウダーの使用量は、噴出装置の最大量を100%とした場合、上質紙で3~5%、マットコート紙で1~3%、コート紙で1%程度にしている。以前からパウダー散布が少なかったが、採用以前はコート紙で7~10%程度だったというから驚きの削減量である。

「本当は、コート紙であればパウダーゼロも可能ではあるのですが」(印刷加工部・清水昭子氏)と言うが、万が一の保険をかけるという意味で、1%にしているという。

「今までの印刷と比べると、印刷機から出てきた瞬間がサラッとしている感じです。マット紙、コート紙は、ゼロでもいけると思います。裏移りもまったく問題ありませんし、デリバリも汚れない。インキ壺は、キレイナを使い始めのころは毎

日洗っていましたが、今は通常の油性インキと同じく、1週間に一度の頻度で掃除を行っています。」(清水氏)

プリンтонは、常に一步先行く会社を目指し、品質向上のために、ケミカルフリーの湿し水供給装置を導入するなど、積極的な取り組みを行っている。

2015年9月に発売されたキレイナのOPニス(汎用タイプ、マットタイプ)についても、テストを始めている。これまででも、コスレ防止などにOPニスを使うことは多く、同社の印刷はますますパウダーレスになっていく。

グッドデザイン賞受賞

「ベストワンキレイナ」は、公益財団法人日本デザイン振興会主催の2016年度「グッドデザイン賞」を受賞した(9月発表)。「印刷物の製造工程における印刷面同士の付着を防止するための構造として、従来品はエンドユーザーである読者の満足ではなく製造側の事情からスプレーパウダーを用いていたのに対し、ベストワンキレイナはエンドユーザー側、製造側の双方にとってのメリットを創出している」点が評価された。

ますます市場をリードするインキとなっている。(つづく)

革新的なパウダーレスインキ「ベストワンキレイナ」

BEST ONE
KIREINA

2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。

GOOD DESIGN
AWARD 2016

T&K TOKA

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>
TEL 049-258-1611(代表) 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1 〒354-8577